令和３年版
公認心理師試験出題基準・ブループリント

一般財団法人日本心理研修センター

目　　次

令和３年版公認心理師試験出題基準・ブループリントの趣旨・・・・・・・・・・・・・・・2
公認心理師試験出題基準の利用法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
ブループリント（公認心理師試験設計表）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
公認心理師試験　出題基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　1　公認心理師としての職責の自覚・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　2　問題解決能力と生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　3　多職種連携・地域連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　4　心理学・臨床心理学の全体像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　5　心理学における研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　6　心理学に関する実験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　7　知覚及び認知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　8　学習及び言語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　9　感情及び人格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　10　脳・神経の働き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　11　社会及び集団に関する心理学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　12　発達・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　13　障害者（児）の心理学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　14　心理状態の観察及び結果の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　15　心理に関する支援（相談、助言、指導その他の援助）・・・・・・・・・・・・・・15
　16　健康・医療に関する心理学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　17　福祉に関する心理学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
　18　教育に関する心理学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
　19　司法・犯罪に関する心理学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　20　産業・組織に関する心理学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
　21　人体の構造と機能及び疾病・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
　22　精神疾患とその治療・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
　23　公認心理師に関係する制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　24　その他（心の健康教育に関する事項等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

令和３年版公認心理師試験出題基準・ブループリントの趣旨

１　公認心理師試験出題基準とは

(1) 定義

公認心理師試験出題基準は、公認心理師試験の範囲とレベルを項目によって整理したものであり、試験委員が出題に際して準拠する基準である。

(2) 基本的考え方

全体を通じて、公認心理師としての業務を行うために必要な知識及び技能の到達度を確認することに主眼を置く。

２　ブループリントとは

ブループリント（公認心理師試験設計表）は、公認心理師試験出題基準の各大項目の出題割合を示したものである。これに基づき、心理職に対するニーズが高まっている近年の状況を踏まえ、社会変化に伴う国民の心の健康の保持増進に必要な分野を含めた幅広い分野から出題するほか、頻度や緊急性の高い分野についても優先的に出題することになる。

公認心理師試験出題基準の利用法

はじめに

公認心理師試験は、公認心理師法第５条に基づき「公認心理師として必要な知識及び技能」について行われる。

また、同法第２条では「保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって」公認心理師の業務を行うこととされている。公認心理師の業務は同条第１号から第４号に示されており、

１　心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析すること。

２　心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。

３　心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。

４　心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行うこと。

を業とする者であるとされている。

このような公認心理師として業務を行うために必要な基本的知識及び技能を具体的な項目で示したものが、公認心理師試験出題基準・ブループリントである。公認心理師試験委員会は、公認心理師試験の妥当な内容、範囲及び適切なレベルを確保するため、この基準に拠って出題する。

したがって、公認心理師試験出題基準は、大学及び大学院の教育内容すべてを網羅するものではなく、また、これらの教育の在り方を拘束するものでもない。

利用方法

利用者は、以下の各項目に従う。

なお、各項目は、公認心理師試験出題基準という観点から配列されているため、必ずしも学問的な分類体系と一致しない点があるほか、各項目間で内容が重複することがある。また、医学用語については、日本医学会医学用語辞典 Web 版の内容を考慮して定めており、心理学に関する用語については、複数の用語辞典で共通していることを考慮して定めている。

1　大・中・小項目

(1) 大項目は、「公認心理師カリキュラム等検討会」の報告書（平成 29 年 5 月 31 日）記載の到達目標の項目である。ただし、一部については、内容を明確にする観点から改変している。

(2) 中項目は、同様に、「公認心理師カリキュラム等検討会」の報告書記載の到達目標の下位項目である。ただし、一部については、内容を明確にする観点から改変している。

(3) 小項目は、中項目の内容に属する概念及び用語の例を具体的に記載し、可能な限り出題テーマを明確化している。他方、出題は、この出題基準に記載された事項に限定されるものではない。例えば、法律、政省令等に規定される事項、厚生労働白書などの公刊物に記載されている事項などからも出題される。

2　ブループリント（公認心理師試験設計表）

項目ごとに出題割合を規定したものである。

出題割合の記載がない中項目以下の事項については、試験委員会の判断で出題する。

3　その他

括弧は、一部を除き、以下のルールに基づいて使用した。試験委員の判断で、括弧内・外の語を単独又は併記して使用できる。

（　）：直前の語の説明又は例示

【例】空間（運動、奥行き）の知覚

〈　〉：直前の語と同義

【例】ソーシャル・スキルズ・トレーニング〈SST〉

［　］：（　）や〈　〉の中に（　）や〈　〉がある場合の大きな括り

【例】生物心理社会モデル［biopsychosocial model〈BPS〉］

ブループリント（公認心理師試験設計表）

到　達　目　標（目安）	出題割合
①　公認心理師としての職責の自覚	約 9%
②　問題解決能力と生涯学習	
③　多職種連携・地域連携	
④　心理学・臨床心理学の全体像	約 3%
⑤　心理学における研究	約 2%
⑥　心理学に関する実験	約 2%
⑦　知覚及び認知	約 2%
⑧　学習及び言語	約 2%
⑨　感情及び人格	約 2%
⑩　脳・神経の働き	約 2%
⑪　社会及び集団に関する心理学	約 2%
⑫　発達	約 5%
⑬　障害者（児）の心理学	約 3%
⑭　心理状態の観察及び結果の分析	約 8%
⑮　心理に関する支援（相談、助言、指導その他の援助）	約 6%
⑯　健康・医療に関する心理学	約 9%
⑰　福祉に関する心理学	約 9%
⑱　教育に関する心理学	約 9%
⑲　司法・犯罪に関する心理学	約 5%
⑳　産業・組織に関する心理学	約 5%
㉑　人体の構造と機能及び疾病	約 4%
㉒　精神疾患とその治療	約 5%
㉓　公認心理師に関係する制度	約 6%
㉔　その他（心の健康教育に関する事項等）	約 2%

公認心理師試験　出題基準

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
1　公認心理師としての職責の自覚	（1）公認心理師の役割	・　公認心理師法 ・　公認心理師の定義
	（2）公認心理師の法的義務及び倫理	・　信用失墜行為の禁止、秘密保持義務、関係者等との連携等、資質向上の責務 ・　倫理的ジレンマ ・　多重関係
	（3）心理に関する支援を要する者（以下「要支援者」という。）等の安全の確保と要支援者の視点	・　リスクアセスメント ・　危機介入 ・　自殺予防 ・　虐待への対応
	（4）情報の適切な取扱い	・　秘密保持義務 ・　個人情報保護法関連５法 ・　専門家間の情報共有 ・　業務に関する記録の適切な保管 ・　インフォームド・コンセント ・　プライバシー保護
	（5）保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務	・　心理検査 ・　心理療法 ・　チーム医療 ・　多職種連携 ・　カウンセリング
2　問題解決能力と生涯学習	（1）自己課題発見と解決能力	・　心理職のコンピテンシー
	（2）生涯学習への準備	・　心理職の成長モデル ・　スーパービジョン
3　多職種連携・地域連携	多職種連携・地域連携の意義及びチームにおける公認心理師の役割	・　保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働との連携 ・　家族との連携 ・　自己責任と自分の限界 ・　支援に関わる専門職と組織 ・　アドバンス・ケア・プランニング〈ACP〉

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
4　心理学・臨床心理学の全体像	（1）心理学・臨床心理学の成り立ち	・ 要素主義、ゲシュタルト心理学、精神分析学、行動主義、新行動主義 ・ 認知心理学、認知神経科学 ・ 科学者－実践者モデル〈scientist-practitioner model〉 ・ 生物心理社会モデル［biopsychosocial model〈BPS〉］ ・ 精神力動アプローチ、認知行動アプローチ、人間性アプローチ ・ ナラティブ・アプローチ、社会構成主義
	（2）人の心の基本的な仕組みとその働き	・ 感覚、知覚 ・ 記憶、学習、言語、思考 ・ 動機づけ、感情、情動 ・ 個人差 ・ 社会行動 ・ 発達
5　心理学における研究	（1）心理学における実証的研究法	・ 心理学における研究倫理 ・ 実験法、調査法、観察法、検査法、面接法 ・ 実践的研究法
	（2）心理学で用いられる統計手法	・ 分散分析、因子分析、重回帰分析、構造方程式モデリング、多変量解析 ・ テスト理論、メタ分析
	（3）統計に関する基礎知識	・ 尺度水準、度数分布、代表値、散布度、相関係数 ・ 仮説検定、点推定、区間推定、ノンパラメトリック検定 ・ 確率と確率分布、標本分布
6　心理学に関する実験	（1）実験計画の立案	・ 文献研究、リサーチ・クエスチョン、仮説、目的、手続 ・ 実験参加者 ・ 刺激、材料、装置

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
6　心理学に関する実験（続き）	（2）実験データの収集とデータ処理	・　実験法、調査法、観察法、検査法、面接法 ・　データ解析
	（3）実験結果の解釈と報告書の作成	・　結果、考察 ・　引用方法と引用文献
7　知覚及び認知	（1）人の感覚・知覚の機序及びその障害	・　心理物理学 ・　明るさと色の知覚、空間（運動、奥行き）の知覚、物体とシーンの知覚 ・　音と音声の知覚 ・　味覚、嗅覚、触覚 ・　体性感覚、自己受容感覚、多感覚統合 ・　注意、意識 ・　知覚の可塑性 ・　脳機能計測技術 ・　知覚・認知機能の障害
	（2）人の認知・思考の機序及びその障害	・　ワーキングメモリ、短期記憶、長期記憶 ・　推論（演繹的推論、帰納的推論） ・　思考、問題解決 ・　意思決定 ・　潜在記憶、プライミング ・　記憶障害
8　学習及び言語	（1）人の行動が変化する過程	・　初期学習（刻印づけ、臨界期、生得的解発機構） ・　古典的条件づけ、オペラント条件づけ ・　恐怖条件づけ、嫌悪条件づけ ・　馴化、鋭敏化 ・　般化、弁別、転移 ・　逃避学習、回避学習 ・　試行錯誤、洞察学習、潜在学習、社会的学習（観察、モデリング） ・　学習の生物学的基礎

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
8　学習及び言語(続き)	（2）言語の習得における機序	・ 意味論、語用論、統語論、音韻論、形態論 ・ 認知言語学、社会言語学 ・ ナラティブ、談話、会話、コミュニケーション ・ N.Chomsky の言語理論（普遍文法、生成文法、言語獲得装置） ・ 言語獲得支援システム ・ 語彙獲得（共同注意、認知的制約） ・ 言語発達過程 ・ 失語症（Wernicke 失語、Broca 失語） ・ ディスレクシア（読字障害）
9　感情及び人格	（1）感情に関する理論と感情喚起の機序	・ 感情に関する神経科学 ・ 認知的評価理論、構成主義理論、次元論、基本感情論 ・ 感情の進化 ・ 感情の機能 ・ 感情、情動、気分
	（2）感情が行動に及ぼす影響	・ 感情の表出 ・ 感情と認知・情報処理 ・ 感情と社会・文化 ・ 感情の発達、感情の個人差（感情特性） ・ 感情と心身の健康 ・ 感情制御 ・ 感情と動機づけ
	（3）人格の概念及び形成過程	・ 人格、パーソナリティ、性格、気質 ・ 状況、認知、感情、行動 ・ 状況論、相互作用論、社会的認知理論 ・ 一貫性論争（人間－状況論争） ・ 人格の形成過程(連続性と変化、遺伝要因、環境要因)

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
9　感情及び人格（続き）	（4）人格の類型、特性	・　類型論、特性論 ・　５因子モデル ・　語彙アプローチ、ナラティブ・アプローチ、人間性心理学的アプローチ、個人差、測定、検査、尺度、アセスメント ・　パーソナリティ障害
10　脳・神経の働き	（1）脳神経系の構造と機能	・　中枢神経（ニューロン、シナプス、グリア、脳脊髄液）、末梢神経 ・　機能局在（大脳皮質、辺縁系、視床、視床下部） ・　自律神経（交感神経、副交感神経） ・　睡眠、摂食行動、情動行動、性行動、サーカディアンリズム ・　神経伝達物質（受容体、グルタミン酸、GABA、アセチルコリン、ノルアドレナリン、ドパミン、セロトニン、オピオイド類）
	（2）記憶、感情等の生理学的反応の機序	・　意識、知覚、記憶、感情 ・　体温、皮膚電位図、筋電図、心電図 ・　脳波、事象関連電位 ・　局所脳血流変化
	（3）高次脳機能の障害と必要な支援	・　失語、失行、失認 ・　記憶障害、遂行機能障害、注意障害、社会的行動障害 ・　高次脳機能障害の原因 ・　リハビリテーション、生活訓練、就労移行支援

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
11　社会及び集団に関する心理学	（1）対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程	・　個人内過程、集団過程 ・　コミュニケーション、ソーシャル・スキル、対人ストレス ・　親密な対人関係 ・　社会的影響 ・　社会的ジレンマ、社会的アイデンティティ ・　ソーシャル・ネットワーク、ソーシャル・サポート ・　集合現象 ・　集団、組織
	（2）人の態度及び行動	・　社会的自己、自己過程、態度、帰属 ・　社会的感情、社会的動機 ・　社会的認知、対人認知、印象形成、社会的推論 ・　対人行動、対人的相互作用
	（3）家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響	・　結婚、夫婦関係、家族関係 ・　育児、養育信念、家族の情動的風土 ・　不適切な養育 ・　家庭内暴力、夫婦間暴力〈DV、IPV〉 ・　家族システム論 ・　家族療法 ・　生態学的システム論 ・　個人主義、集団主義、文化的自己観 ・　異文化適応、異文化間葛藤

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
12　発達	（1）認知機能の発達及び感情・社会性の発達	・ J.Piaget の発達理論、L.S.Vygotsky の発達理論 ・ 知能指数、知能の構造（多重知能） ・ 乳児に対する実験法（選好注視法、馴化・脱馴化法、期待違反法） ・ 心の理論、メンタライゼーション ・ 共感性、向社会的行動、協調性 ・ 感情制御、自己制御 ・ 道徳性、規範意識 ・ 実行機能 ・ 素朴理論 ・ 感情知性
	（2）自己と他者の関係の在り方と心理的発達	・ アタッチメント、内的作業モデル ・ 気質と環境 ・ 相互規定的作用モデル〈transactional model〉 ・ 社会化と個性化 ・ 対人関係の発達（仲間関係、友人関係、異性関係） ・ 自己概念、自己意識、自我同一性 ・ ジェンダーとセクシャリティ（性的指向、性自認） ・ 向社会性、非社会性、反社会性
	（3）生涯における発達と各発達段階での特徴	・ 生涯発達の遺伝的基盤 ・ ライフサイクル論 ・ 胎児期、乳児期、幼児期、児童期、青年期、成人期、中年期、老年期 ・ 恋愛、結婚、家族形成 ・ 職業意識とライフコース選択 ・ 親としての発達 ・ 中年期危機 ・ 生成継承性〈generativity〉

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
12　発達（続き）	（４）非定型発達	・　神経発達症群／神経発達障害群 ・　自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉 ・　注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉 ・　限局性学習症／限局性学習障害〈SLD〉 ・　発達性協調運動症／発達性協調運動障害 ・　知的能力障害 ・　アタッチメント障害 ・　早産、低出生体重児 ・　成長障害〈FTT〉（器質性、非器質性） ・　非定型発達に対する介入及び支援
	（５）高齢者の心理社会的課題と必要な支援	・　平均寿命、健康寿命、加齢のメカニズム ・　加齢による心身機能の変化、終末低下 ・　社会的離脱、活動持続、補償を伴う選択的最適化 ・　喪失と悲嘆、独居・孤独、ソーシャル・サポート（ソーシャル・コンボイ） ・　認知症、日常生活動作〈ADL〉、介護、被介護 ・　QOL〈quality of life〉、ウェルビーイング、エイジング・パラドックス〈aging paradox〉 ・　サクセスフルエイジング（高齢者就労、社会的参加）

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
13　障害者（児）の心理学	（１）身体障害、知的障害及び精神障害	・　国際障害分類〈ICIDH〉、国際生活機能分類〈ICF〉 ・　精神疾患の診断分類・診断基準（ICD-10、DSM-5） ・　アセスメント ・　発達障害 ・　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉、発達障害者支援法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉
	（２）障害者（児）の心理社会的課題と必要な支援	・　障害者(児)の基本的権利、合理的配慮 ・　リハビリテーション ・　療育、特別支援教育 ・　就労支援、ソーシャル・スキルズ・トレーニング〈SST〉 ・　応用行動分析、認知行動療法、TEACCH ・　ペアレント・トレーニング
14　心理状態の観察及び結果の分析	（１）心理的アセスメントに有用な情報（生育歴や家族の状況等）とその把握の手法等	・　テストバッテリー、アセスメント ・　ケース・フォーミュレーション ・　機能分析 ・　インフォームド・コンセント ・　診断的評価、精神疾患の診断分類・診断基準〈ICD-10、DSM-5〉 ・　半構造化面接 ・　インテーク面接、査定面接 ・　司法面接 ・　生物心理社会モデル［biopsychosocial model〈BPS〉］
	（２）関与しながらの観察	

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
14　心理状態の観察及び結果の分析（続き）	（３）心理検査の種類、成り立ち、特徴、意義及び限界	・　自然観察法、実験観察法 ・　質問紙法、投影法、描画法、作業検査法、神経心理学的検査 ・　知能検査 ・　発達検査
	（４）心理検査の適用、実施及び結果の解釈	・　実施上の留意点
	（５）生育歴等の情報、行動観察、心理検査の結果等の統合と包括的な解釈	
	（６）適切な記録、報告、振り返り等	・　アセスメント結果のフィードバック
15　心理に関する支援（相談、助言、指導その他の援助）	（１）代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義及び適応	・　心理療法 ・　精神力動理論、認知行動理論、人間性アプローチ、集団療法
	（２）訪問による支援や地域支援の意義	・　アウトリーチ(多職種による訪問支援) ・　緩和ケア、終末期ケア（グリーフケアを含む。） ・　自殺予防 ・　災害時における支援 ・　地域包括ケアシステム ・　コミュニティ・アプロ―チ、コンサルテーション
	（３）要支援者の特性や状況に応じた支援方法の選択、調整	・　援助要請 ・　カウンセリング、転移、逆転移 ・　エビデンスベイスト・アプローチ ・　生物心理社会モデル［biopsychosocial model<BPS>］ ・　エンパワメント ・　ナラティブ・アプローチ、ストレングス
	（４）良好な人間関係構築のためのコミュニケーション	・　共感的理解、傾聴、作業同盟

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
15　心理に関する支援（相談、助言、指導その他の援助）（続き）	（５）心理療法及びカウンセリングの適用の限界	・　効果研究、メタ分析 ・　動機づけ面接 ・　負の相補性 〈negative-complementarity〉
	（６）要支援者等のプライバシーへの配慮	・　個人情報の保護に関する法律〈個人情報保護法〉、個人の尊厳と自己決定の尊重、インフォームド・コンセント
16　健康・医療に関する心理学	（１）ストレスと心身の疾病との関係	・　生活習慣と心の健康（生活習慣病、ストレス反応）、ライフサイクルと心の健康 ・　ストレス症状（うつ症状、依存、燃え尽き症候群〈バーンアウト〉を含む。） ・　心身症（タイプＡ型行動パターン、アレキシサイミア〈失感情症〉を含む。） ・　予防の考え方（Caplan モデル）
	（２）医療現場における心理社会的課題と必要な支援	・　精神疾患 ・　遺伝性疾患、遺伝カウンセリング ・　がん、難病 ・　後天性免疫不全症候群〈AIDS〉 ・　医療倫理、患者安全 ・　チーム医療と多職種連携の実践 ・　リエゾン精神医学〈精神科コンサルテーション〉 ・　QOL〈quality of life〉
	（３）保健活動における心理的支援	・　発達相談 ・　うつ、自殺対策、職場復帰支援 ・　依存症（薬物、アルコール、ギャンブル等） ・　認知症高齢者 ・　ひきこもり

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
16　健康・医療に関する心理学（続き）	（４）災害時等の心理的支援	・　心理的応急処置〈サイコロジカル・ファーストエイド〉 ・　心のケアチーム、災害派遣精神医療チーム〈DPAT〉 ・　支援者のケア
17　福祉に関する心理学	（１）福祉現場において生じる問題とその背景	・　福祉の基本理念 ・　少子高齢化、貧困 ・　知的障害、身体障害、精神障害 ・　要保護児童、養育困難 ・　児童虐待の種類（身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待） ・　夫婦間暴力〈DV、IPV〉 ・　認知症、軽度認知障害［mild cognitive impairment〈MCI〉］ ・　高齢者虐待、エイジズム〈ageism〉 ・　高齢者の心理（認知の予備力〈cognitive reserve〉、エイジング・パラドックス〈aging paradox〉、高齢者の意思決定と詐欺被害、「こころ」の加齢モデル）
	（２）福祉現場における心理社会的課題と必要な支援方法	・　愛着形成の阻害、誤学習、衝動制御困難、感情調節困難 ・　心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉、解離、喪失、二次障害 ・　子育て支援、環境調整、虐待への対応、社会的養護、里親、養子縁組 ・　障害受容、障害者支援、合理的配慮、共生社会、ノーマライゼーション ・　アドバンス・ケア・プランニング〈ACP〉、人生会議 ・　統合的心理療法、心理教育 ・　専門職・行政・団体等の役割と連携

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
17　福祉に関する心理学（続き）	（３）虐待、認知症に関する必要な支援	・　包括的アセスメント、リスクアセスメント ・　生活の中の治療、被虐待児への心理療法 ・　親子関係調整、家族支援、家族再統合 ・　アウトリーチ(多職種による訪問支援) ・　認知症の行動・心理症状［behavioral and psychological symptoms of dementia<BPSD>］ ・　高齢者に関する心理検査（改訂長谷川式簡易知能評価スケール<HDS-R>、精神状態短時間検査-改訂日本版<MMSE-J>、clinical dementia rating<CDR>） ・　認知症の人に対する心理支援（回想法・ライフレビュー、応用行動分析的アプローチ、認知リハビリテーション、認知機能の活性化、診断前後の支援、認知症の予防と共生） ・　関係者に対する心理支援（家族介護者・介護職への支援、養護者・養介護施設従事者等への支援）
18　教育に関する心理学	（１）教育現場において生じる問題とその背景	・　動機づけ ・　自己効力感 ・　原因帰属 ・　適性処遇交互作用 ・　学力、学習方略、アクティブラーニング ・　不登校、いじめ、非行 ・　生徒指導、進路指導、キャリアガイダンス、学校文化、教師－生徒関係

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
18　教育に関する心理学（続き）	（2）教育現場における心理社会的課題と必要な支援	・　特別支援教育 ・　スクールカウンセリング ・　教育関係者へのコンサルテーション、コラボレーション ・　学校におけるアセスメント ・　学校危機支援 ・　チーム学校 ・　学生相談 ・　教育評価
19　司法・犯罪に関する心理学	（1）犯罪、非行、犯罪被害及び家事事件に関する基本的事項	・　犯罪、少年非行 ・　犯罪予防、再犯予防 ・　犯罪捜査場面における心理学 ・　裁判員裁判 ・　医療観察制度 ・　犯罪被害者支援 ・　面会交流
	（2）司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理的支援	・　非行・犯罪の理論 ・　非行・犯罪のアセスメント ・　施設内処遇と社会内処遇 ・　反抗挑発症／反抗挑戦性障害、素行症／素行障害、反社会性パーソナリティ障害 ・　被害者の視点を取り入れた教育 ・　動機づけ面接 ・　司法面接

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
20　産業・組織に関する心理学	（1）職場における問題に対して必要な心理的支援	・　過労死・過労自殺、ハラスメント、労働災害 ・　職場復帰支援、障害者の就労支援 ・　キャリア形成、キャリア支援 ・　働き方改革、ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス、両立支援（仕事と家庭、治療と仕事）、ワーク・エンゲイジメント ・　労務管理でのコンサルテーション ・　職場のメンタルヘルス対策 ・　ストレスチェック制度
	（2）組織における人の行動	・　リーダーシップ ・　安全文化 ・　動機づけ理論 ・　組織風土と文化
21　人体の構造と機能及び疾病	（1）心身機能、身体構造及びさまざまな疾病と障害	・　解剖学、生理学 ・　加齢（身体、心理、精神機能の変化） ・　主要な症候（めまい、倦怠感、呼吸困難等）
	（2）心理的支援が必要な主な疾病	・　がん、難病 ・　遺伝性疾患 ・　後天性免疫不全症候群〈AIDS〉 ・　脳血管疾患 ・　脳卒中後遺症、循環器疾患、内分泌代謝疾患 ・　依存症（薬物、アルコール、ギャンブル等） ・　移植医療、再生医療 ・　サイコオンコロジー〈精神腫瘍学〉 ・　緩和ケア、終末期ケア（グリーフケアを含む。）

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
22　精神疾患とその治療	（１）代表的な精神疾患の成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援	・　主な症状と状態像（抑うつ、不安、恐怖、幻覚、妄想等） ・　精神疾患の診断分類・診断基準<ICD-10、DSM-5> ・　症状性を含む器質性精神障害（F0、ICD-10 のコード番号、本中項目において以下同じ。） ・　精神作用物質使用による精神及び行動の障害（F1） ・　統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（F2） ・　気分（感情）障害（F3） ・　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（F4） ・　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群（F5） ・　成人のパーソナリティ及び行動の障害（F6） ・　精神遅滞［知的障害］（F7） ・　心理的発達の障害（F8） ・　小児期及び青年期に通常発症する行動並びに情緒の障害、特定不能の精神障害（F9） ・　行動観察、評定尺度 ・　知能検査、神経心理学的検査、脳波検査、神経画像検査、発達検査、認知機能検査 ・　薬物療法、作業療法、心理療法 ・　地域移行、自助グループ ・　アドヒアランス
	（２）向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化	・　薬理作用 ・　薬物動態 ・　有害事象、副作用（錐体外路症状、抗コ

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
22　精神疾患とその治療（続き）	（２）向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化（続き）	リン作用、依存耐性、賦活症候群等） ・　向精神薬（抗うつ薬、抗不安薬、睡眠薬、抗精神病薬、気分安定薬、抗認知症薬、精神刺激薬等） ・　薬剤性精神障害
	（３）医療機関への紹介	・　精神科等医療機関へ紹介すべき症状
23　公認心理師に関係する制度	（１）保健医療分野に関する法律、制度	・　医療法、医療計画制度、診療録、保険診療制度 ・　高齢者の医療の確保に関する法律 ・　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉 ・　自殺対策基本法 ・　健康増進法 ・　地域保健法、母子保健法 ・　民法（説明義務、注意義務、過失） ・　医療保険制度、介護保険制度 ・　医療の質、医療事故防止、院内感染対策
	（２）福祉分野に関する法律、制度	・　児童福祉法 ・　老人福祉法 ・　児童虐待の防止等に関する法律〈児童虐待防止法〉 ・　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉、障害福祉計画 ・　発達障害者支援法 ・　障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律〈障害者差別解消法〉 ・　障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律〈障害者虐待防止法〉 ・　障害者基本法 ・　高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
23　公認心理師に関係する制度（続き）	（２）福祉分野に関する法律、制度（続き）	待防止法〉 ・　配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律〈DV 防止法〉 ・　生活保護法 ・　生活困窮者自立支援法 ・　成年後見制度の利用の促進に関する法律 ・　配偶者暴力相談センター、児童相談所、福祉事務所、地域包括支援センター
	（３）教育分野に関する法律、制度	・　教育基本法、学校教育法 ・　学校保健安全法 ・　いじめ防止対策推進法 ・　教育相談所、教育支援センター ・　特別支援教育、通級
	（４）司法・犯罪分野に関する法律、制度	・　刑事法、刑事司法制度、少年司法制度 ・　心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律〈医療観察法〉 ・　犯罪被害者等基本法 ・　更生保護制度 ・　裁判員裁判 ・　国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約〈ハーグ条約〉 ・　家庭裁判所、保護観察所、刑事施設、少年鑑別所、少年院、児童自立支援施設 ・　更生保護施設、地域生活定着支援センター、自立援助ホーム、自立更生促進センター

大項目	中項目	小項目（キーワードの例）
23　公認心理師に関係する制度（続き）	（５）産業・労働分野に関する法律、制度	・　労働基準法、労働安全衛生法、労働契約法、労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律〈労働者派遣法〉 ・　障害者の雇用の促進等に関する法律〈障害者雇用促進法〉 ・　雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律〈男女雇用機会均等法〉 ・　労働者の心の健康の保持増進のための指針 ・　心理的負担による精神障害の認定基準 ・　職場におけるハラスメント防止対策、労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律〈労働施策総合推進法〉
24　その他（心の健康教育に関する事項等）	（１）具体的な体験、支援活動の専門知識及び技術への概念化、理論化、体系化	
	（２）実習を通じた要支援者等の情報収集、課題抽出及び整理	
	（３）心の健康に関する知識普及を図るための教育、情報の提供	・　健康日本 21、こころの健康対策［うつ病、薬物依存症、心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉］ ・　自殺予防 ・　心理教育 ・　支援者のメンタルヘルス

索　　引

用語【大項目-(中項目)】・・・・・・・・・・貢数

あ

愛着形成の阻害【17-(2)】・・・・・・・・・・p17
アウトリーチ【15-(2)】・・・・・・・・・・p15
【17-(3)】・・・・・・・・・・p18
明るさと色の知覚【7-(1)】・・・・・・・・ p 8
アクティブラーニング【18-(1)】・・・・・・p18
アセスメント【9-(4)】・・・・・・・・・・ p10
【13-(1)】・・・・・・・・・・p14
【14-(1)】・・・・・・・・・・p14
アセスメント結果のフィードバック
【14-(6)】・・・・・・・・・・・・・・・・p15
アセチルコリン【10-(1)】・・・・・・・・・p10
アタッチメント【12-(2)】・・・・・・・・・p12
アタッチメント障害【12-(4)】・・・・・・・p13
アドバンス・ケア・プランニング〈ACP〉
【3】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 6
【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・・p17
アドヒアランス【22-(1)】・・・・・・・・・p21
アルコール【16-(3)】・・・・・・・・・・・p16
【21-(2)】・・・・・・・・・・・p20
アレキシサイミア〈失感情症〉【16-(1)】・・・p16
安全文化【20-(2)】・・・・・・・・・・・・p20

い

育児【11-(3)】・・・・・・・・・・・・・・p11
意識【7-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 8
【10-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p10
意思決定【7-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 8
いじめ【18-(1)】・・・・・・・・・・・・・p18
いじめ防止対策推進法【23-(3)】・・・・・・p23
移植医療【21-(2)】・・・・・・・・・・・・p20
異性関係【12-(2)】・・・・・・・・・・・・p12
依存【16-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p16
依存症【16-(3)】・・・・・・・・・・・・・p16
【21-(2)】・・・・・・・・・・・・p20
依存耐性【22-(2)】・・・・・・・・・・・・p22
一貫性論争【9-(3)】・・・・・・・・・・・・ p 9
遺伝カウンセリング【16-(2)】・・・・・・・p16
遺伝性疾患【16-(2)】・・・・・・・・・・・p16
【21-(2)】・・・・・・・・・・・p20
遺伝要因【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 9
異文化間葛藤【11-(3)】・・・・・・・・・・p11
異文化適応【11-(3)】・・・・・・・・・・・p11
意味論【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 9
医療観察制度【19-(1)】・・・・・・・・・・p19
医療観察法【23-(4)】・・・・・・・・・・・p23
医療計画制度【23-(1)】・・・・・・・・・・p22
医療事故防止【23-(1)】・・・・・・・・・・p22
医療の質【23-(1)】・・・・・・・・・・・・p22
医療法【23-(1)】・・・・・・・・・・・・・p22
医療保険制度【23-(1)】・・・・・・・・・・p22
医療倫理【16-(2)】・・・・・・・・・・・・p16
因子分析【5-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
印象形成【11-(2)】・・・・・・・・・・・・p11
インテーク面接【14-(1)】・・・・・・・・・p14
院内感染対策【23-(1)】・・・・・・・・・・p22
インフォームド・コンセント【1-(4)】・・・ p 6
【14-(1)】・・・p14
【15-(6)】・・・p16
引用方法と引用文献【6-(3)】・・・・・・・・ p 8

う

ウェルビーイング【12-(5)】・・・・・・・・p13
うつ【16-(3)】・・・・・・・・・・・・・・p16
うつ症状【16-(1)】・・・・・・・・・・・・p16
うつ病【24-(3)】・・・・・・・・・・・・・p24
運動の知覚【7-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 8

え

エイジズム〈ageism〉【17-(1)】・・・・・・・p17
エイジング・パラドックス〈aging paradox〉
【12-(5)】・・・・・・・・・・・・・・・・p13
【17-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・・p17
鋭敏化【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 8
エビデンスベイスト・アプローチ【15-(3)】・p15
演繹的推論【7-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 8
援助要請【15-(3)】・・・・・・・・・・・・p15
エンパワメント【15-(3)】・・・・・・・・・p15

お

応用行動分析【13-(2)】・・・・・・・・・・p14
応用行動分析的アプローチ【17-(3)】・・・・p18
奥行きの知覚【7-(1)】・・・・・・・・・・・ p 8
音と音声の知覚【7-(1)】・・・・・・・・・・ p 8
オピオイド類【10-(1)】・・・・・・・・・・p10
オペラント条件づけ【8-(1)】・・・・・・・・ p 8
主な症状と状態像【22-(1)】・・・・・・・・p21
親子関係調整【17-(3)】・・・・・・・・・・p18
親としての発達【12-(3)】・・・・・・・・・p12
音韻論【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 9

か

介護【12-(5)】・・・・・・・・・・・・・・・p13
介護保険制度【23-(1)】・・・・・・・・・・・p22
回想法・ライフレビュー【17-(3)】・・・・・・p18
改訂長谷川式簡易知能評価スケール〈HDS-R〉
【17-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p18
回避学習【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p 8
解剖学【21-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p20
解離【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p17
会話【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
カウンセリング【1-(5)】・・・・・・・・・・ p 6
【15-(3)】・・・・・・・・・・p15
科学者－実践者モデル
〈scientist-practitioner model〉【4-(1)】・ p 7
学習【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
学習の生物学的基礎【8-(1)】・・・・・・・・ p 8
学習方略【18-(1)】・・・・・・・・・・・・・p18
学生相談【18-(2)】・・・・・・・・・・・・・p19
確率と確率分布【5-(3)】・・・・・・・・・・ p 7
学力【18-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p18
過失【23-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p22
仮説【6-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
仮説検定【5-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
家族介護者・介護職への支援【17-(3)】・・・p18
家族関係【11-(3)】・・・・・・・・・・・・・p11
家族形成【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・p12
家族再統合【17-(3)】・・・・・・・・・・・・p18
家族支援【17-(3)】・・・・・・・・・・・・・p18
家族システム論【11-(3)】・・・・・・・・・・p11
家族との連携【3】・・・・・・・・・・・・・ p 6
家族の情動的風土【11-(3)】・・・・・・・・・p11
家族療法【11-(3)】・・・・・・・・・・・・・p11
学校危機支援【18-(2)】・・・・・・・・・・・p19
学校教育法【23-(3)】・・・・・・・・・・・・p23
学校におけるアセスメント【18-(2)】・・・・p19
学校文化【18-(1)】・・・・・・・・・・・・・p18
学校保健安全法【23-(3)】・・・・・・・・・・p23
活動持続【12-(5)】・・・・・・・・・・・・・p13
家庭裁判所【23-(4)】・・・・・・・・・・・・p23
家庭内暴力【11-(3)】・・・・・・・・・・・・p11
加齢【21-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p20
加齢による心身機能の変化【12-(5)】・・・・p13
加齢のメカニズム【12-(5)】・・・・・・・・・p13
過労死・過労自殺【20-(1)】・・・・・・・・・p20
がん【16-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p16
【21-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p20
感覚【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
環境調整【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・p17
環境要因【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 9
関係者等との連携等【1-(2)】・・・・・・・・ p 6
関係者に対する心理支援【17-(3)】・・・・・p18
観察【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8
観察法【5-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【6-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 8
患者安全【16-(2)】・・・・・・・・・・・・・p16
感情【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【9-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
【10-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p10
感情制御【9-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 9
【12-(1)】・・・・・・・・・・・・・p12
感情知性【12-(1)】・・・・・・・・・・・・・p12
感情調節困難【17-(2)】・・・・・・・・・・・p17
感情特性【9-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 9
感情と社会・文化【9-(2)】・・・・・・・・・ p 9
感情と心身の健康【9-(2)】・・・・・・・・・ p 9
感情と動機づけ【9-(2)】・・・・・・・・・・ p 9
感情と認知・情報処理【9-(2)】・・・・・・・ p 9
感情に関する神経科学【9-(1)】・・・・・・・ p 9
感情の機能【9-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 9
感情の個人差【9-(2)】・・・・・・・・・・・ p 9
感情の進化【9-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 9
感情の発達【9-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 9
感情の表出【9-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 9
緩和ケア【15-(2)】・・・・・・・・・・・・・p15
【21-(2)】・・・・・・・・・・・・p20

き

記憶【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【10-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p10
記憶障害【7-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 8
【10-(3)】・・・・・・・・・・・・・p10
危機介入【1-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 6
気質【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
器質性【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・・p13
気質と環境【12-(2)】・・・・・・・・・・・・p12
帰属【11-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p11
期待違反法【12-(1)】・・・・・・・・・・・・p12
機能局在【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・p10
帰納的推論【7-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 8
機能分析【14-(1)】・・・・・・・・・・・・・p14
規範意識【12-(1)】・・・・・・・・・・・・・p12
気分【9-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
気分(感情) 障害 (F3)【22-(1)】・・・・・・p21
気分安定薬【22-(2)】・・・・・・・・・・・・p22
基本感情論【9-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 9
虐待への対応【1-(3)】・・・・・・・・・・・ p 6
【17-(2)】・・・・・・・・・・p17
逆転移【15-(3)】・・・・・・・・・・・・・・p15
キャリアガイダンス【18-(1)】・・・・・・・・p18
キャリア形成【20-(1)】・・・・・・・・・・・p20
キャリア支援【20-(1)】・・・・・・・・・・・p20
ギャンブル【16-(3)】・・・・・・・・・・・・p16
【21-(2)】・・・・・・・・・・・p20
嗅覚【7-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8
教育関係者へのコンサルテーション
【18-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p19
教育基本法【23-(3)】・・・・・・・・・・・・p23
教育支援センター【23-(3)】・・・・・・・・・p23
教育相談所【23-(3)】・・・・・・・・・・・・p23
教育評価【18-(2)】・・・・・・・・・・・・・p19
共感性【12-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p12
共感的理解【15-(4)】・・・・・・・・・・・・p15
教師－生徒関係【18-(1)】・・・・・・・・・・p18
共生社会【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・p17
協調性【12-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p12
共同注意【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 9

恐怖【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p21
恐怖条件づけ【8-(1)】・・・・・・・・・・・ p 8
業務に関する記録の適切な保管【1-(4)】・・ p 6
局所脳血流変化【10-(2)】・・・・・・・・・・p10
筋電図【10-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p10

く

空間の知覚【7-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 8
区間推定【5-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
グリア【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p10
グリーフケア【15-(2)】・・・・・・・・・・・p15
【21-(2)】・・・・・・・・・・p20
グルタミン酸【10-(1)】・・・・・・・・・・・p10

け

刑事施設【23-(4)】・・・・・・・・・・・・・p23
刑事司法制度【23-(4)】・・・・・・・・・・・p23
刑事法【23-(4)】・・・・・・・・・・・・・・p23
形態論【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 9
傾聴【15-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・p15
軽度認知障害［mild cognitive
impairment<MCI>］【17-(1)】・・・・・・・ p17
ケース・フォーミュレーション【14-(1)】・・p14
ゲシュタルト心理学【4-(1)】・・・・・・・ p 7
結果【6-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8
結婚【11-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・p11
【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・p12
原因帰属【18-(1)】・・・・・・・・・・・・・p18
嫌悪条件づけ【8-(1)】・・・・・・・・・・・ p 8
幻覚【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p21
限局性学習症／限局性学習障害<SLD>
【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p13
言語【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
健康寿命【12-(5)】・・・・・・・・・・・・・p13
健康増進法【23-(1)】・・・・・・・・・・・・p22
健康日本21【24-(3)】・・・・・・・・・・・・p24
言語獲得支援システム【8-(2)】・・・・・・ p 9
言語獲得装置【8-(2)】・・・・・・・・・・ p 9
言語発達過程【8-(2)】・・・・・・・・・・ p 9
検査【9-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・ p10
検査法【5-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【6-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 8
倦怠感【21-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p20

こ

語彙アプローチ【9-(4)】・・・・・・・・・・ p10
語彙獲得【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 9
５因子モデル【9-(4)】・・・・・・・・・・ p10
抗うつ薬【22-(2)】・・・・・・・・・・・・・p22
効果研究【15-(5)】・・・・・・・・・・・・・p16
交感神経【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・p10
抗コリン作用【22-(2)】・・・・・・・・・・・p21
考察【6-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8
高次脳機能障害の原因【10-(3)】・・・・・・・p10
向社会性【12-(2)】・・・・・・・・・・・・・p12
向社会的行動【12-(1)】・・・・・・・・・・・p12
構成主義理論【9-(1)】・・・・・・・・・・・ p 9
抗精神病薬【22-(2)】・・・・・・・・・・・・p22
向精神薬【22-(2)】・・・・・・・・・・・・・p22
更生保護施設【23-(4)】・・・・・・・・・・・p23
更生保護制度【23-(4)】・・・・・・・・・・・p23
構造方程式モデリング【5-(2)】・・・・・・ p 7
後天性免疫不全症候群<AIDS>【16-(2)】・・・p16
【21-(2)】・・・p20
行動【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
行動観察【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・p21
行動主義【4-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
公認心理師の定義【1-(1)】・・・・・・・・・ p 6
公認心理師法【1-(1)】・・・・・・・・・・・ p 6
抗認知症薬【22-(2)】・・・・・・・・・・・・p22
抗不安薬【22-(2)】・・・・・・・・・・・・・p22
合理的配慮【13-(2)】・・・・・・・・・・・・p14
【17-(2)】・・・・・・・・・・・p17
高齢者虐待【17-(1)】・・・・・・・・・・・・p17
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する
支援等に関する法律<高齢者虐待防止法>
【23-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p22
高齢者虐待防止法【23-(2)】・・・・・・・・・p22
高齢者就労【12-(5)】・・・・・・・・・・・・p13
高齢者に関する心理検査【17-(3)】・・・・・p18
高齢者の意思決定と詐欺被害【17-(1)】・・・p17
高齢者の医療の確保に関する法律【23-(1)】・p22
高齢者の心理【17-(1)】・・・・・・・・・・・p17
誤学習【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p17
呼吸困難【21-(1)】・・・・・・・・・・・・・p20
刻印づけ【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p 8
国際障害分類<ICIDH>【13-(1)】・・・・・・ p14
国際生活機能分類<ICF>【13-(1)】・・・・・ p14
国際的な子の奪取の民事上の側面に関する
条約<ハーグ条約>【23-(4)】・・・・・・・ p23
「こころ」の加齢モデル【17-(1)】・・・・・p17
心のケアチーム【16-(4)】・・・・・・・・・p17
こころの健康対策【24-(3)】・・・・・・・・p24
心の理論【12-(1)】・・・・・・・・・・・・・p12
個人差【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【9-(4)】・・・・・・・・・・・・・・ p10
個人主義【11-(3)】・・・・・・・・・・・・・p11
個人情報の保護に関する法律
<個人情報保護法>【15-(6)】・・・・・・・ p16
個人情報保護法【15-(6)】・・・・・・・・・p16
個人情報保護法関連５法【1-(4)】・・・・・ p 6
個人内過程【11-(1)】・・・・・・・・・・・・p11
個人の尊厳と自己決定の尊重【15-(6)】・・・p16
子育て支援【17-(2)】・・・・・・・・・・・・p17
古典的条件づけ【8-(1)】・・・・・・・・・・ p 8
コミュニケーション【8-(2)】・・・・・・・ p 9
【11-(1)】・・・・・・・p11
コミュニティ・アプローチ【15-(2)】・・・・p15
雇用の分野における男女の均等な機会及び
待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会
均等法>【23-(5)】・・・・・・・・・・・・・p24
語用論【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 9
コラボレーション【18-(2)】・・・・・・・・p19
コンサルテーション【15-(2)】・・・・・・・p15

さ

サーカディアンリズム【10-(1)】・・・・・・p10
サイコオンコロジー〈精神腫瘍学〉【21-(2)】・p20
災害時における支援【15-(2)】・・・・・・・p15
災害派遣精神医療チーム〈DPAT〉【16-(4)】・・p17
サイコロジカル・ファーストエイド
【16-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・・p17
再生医療【21-(2)】・・・・・・・・・・・・p20
裁判員裁判【19-(1)】・・・・・・・・・・・p19
【23-(4)】・・・・・・・・・・・p23
再犯予防【19-(1)】・・・・・・・・・・・・p19
材料【6-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7
作業検査法【14-(3)】・・・・・・・・・・・p15
作業同盟【15-(4)】・・・・・・・・・・・・p15
作業療法【22-(1)】・・・・・・・・・・・・p21
サクセスフルエイジング【12-(5)】・・・・・p13
査定面接【14-(1)】・・・・・・・・・・・・p14
里親【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p17
散布度【5-(3)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7

し

支援者のケア【16-(4)】・・・・・・・・・・p17
支援者のメンタルヘルス【24-(3)】・・・・・p24
ジェンダーとセクシャリティ【12-(2)】・・・p12
支援に関わる専門職と組織【3】・・・・・・ p 6
自我同一性【12-(2)】・・・・・・・・・・・p12
刺激【6-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
次元論【9-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 9
自己意識【12-(2)】・・・・・・・・・・・・p12
思考【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【7-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 8
試行錯誤【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p 8
自己概念【12-(2)】・・・・・・・・・・・・p12
自己過程【11-(2)】・・・・・・・・・・・・p11
自己効力感【18-(1)】・・・・・・・・・・・p18
自己受容感覚【7-(1)】・・・・・・・・・・ p 8
自己制御【12-(1)】・・・・・・・・・・・・p12
自己責任と自分の限界【3】・・・・・・・・ p 6
仕事と家庭【20-(1)】・・・・・・・・・・・p20
自殺対策【16-(3)】・・・・・・・・・・・・p16
自殺対策基本法【23-(1)】・・・・・・・・・p22
自殺予防【1-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 6
【15-(2)】・・・・・・・・・・・p15
【24-(3)】・・・・・・・・・・・p24
資質向上の責務【1-(2)】・・・・・・・・・ p 6
視床【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p10
視床下部【10-(1)】・・・・・・・・・・・・p10
事象関連電位【10-(2)】・・・・・・・・・・p10
自助グループ【22-(1)】・・・・・・・・・・p21
施設内処遇と社会内処遇【19-(2)】・・・・・p19
自然観察法【14-(3)】・・・・・・・・・・・p15
失感情症【16-(1)】・・・・・・・・・・・・p16
実験観察法【14-(3)】・・・・・・・・・・・p15
実験参加者【6-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 7
実験法【5-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【6-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 8
失語【10-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・p10
失行【10-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・p10
実行機能【12-(1)】・・・・・・・・・・・・p12
失語症【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 9
実施上の留意点【14-(4)】・・・・・・・・・p15
実践的研究法【5-(1)】・・・・・・・・・・・ p 7
失認【10-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・p10
質問紙法【14-(3)】・・・・・・・・・・・・ p15
児童期【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・p12
児童虐待の種類【17-(1)】・・・・・・・・・p17
児童虐待の防止等に関する法律
〈児童虐待防止法〉【23-(2)】・・・・・・・ p22
児童虐待防止法【23-(2)】・・・・・・・・・p22
児童自立支援施設【23-(4)】・・・・・・・・p23
児童相談所【23-(2)】・・・・・・・・・・・p23
児童福祉法【23-(2)】・・・・・・・・・・・p22
シナプス【10-(1)】・・・・・・・・・・・・p10
自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障
害〈ASD〉【12-(4)】・・・・・・・・・・・・p13
司法面接【14-(1)】・・・・・・・・・・・・p14
【19-(2)】・・・・・・・・・・・p19
社会化と個性化【12-(2)】・・・・・・・・・p12
社会言語学【8-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 9
社会構成主義【4-(1)】・・・・・・・・・・・ p 7
社会行動【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
社会的アイデンティティ【11-(1)】・・・・・p11
社会的影響【11-(1)】・・・・・・・・・・・p11
社会的学習【8-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 8
社会的感情【11-(2)】・・・・・・・・・・・p11
社会的行動障害【10-(3)】・・・・・・・・・p10
社会的参加【12-(5)】・・・・・・・・・・・p13
社会的自己【11-(2)】・・・・・・・・・・・p11
社会的ジレンマ【11-(1)】・・・・・・・・・p11
社会的推論【11-(2)】・・・・・・・・・・・p11
社会的動機【11-(2)】・・・・・・・・・・・p11
社会的認知【11-(2)】・・・・・・・・・・・p11
社会的認知理論【9-(3)】・・・・・・・・・ p 9
社会的養護【17-(2)】・・・・・・・・・・・p17
社会的離脱【12-(5)】・・・・・・・・・・・p13
尺度【9-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・ p10
尺度水準【5-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
重回帰分析【5-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 7
集合現象【11-(1)】・・・・・・・・・・・・p11
集団【11-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p11
集団過程【11-(1)】・・・・・・・・・・・・p11
集団主義【11-(3)】・・・・・・・・・・・・p11
集団療法【15-(1)】・・・・・・・・・・・・p15
終末期ケア【15-(2)】・・・・・・・・・・・p15
【21-(2)】・・・・・・・・・・・p20
終末低下【12-(5)】・・・・・・・・・・・・p13
就労移行支援【10-(3)】・・・・・・・・・・p10
就労支援【13-(2)】・・・・・・・・・・・・p14
受容体【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・p10
主要な症候【21-(1)】・・・・・・・・・・・p20
馴化【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8
馴化・脱馴化法【12-(1)】・・・・・・・・・p12
循環器疾患【21-(2)】・・・・・・・・・・・p20
障害者基本法【23-(2)】・・・・・・・・・・p22
障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する

支援等に関する法律〈障害者虐待防止法〉
【23-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・・・・p22
障害者虐待防止法【23-(2)】・・・・・・・・・p22
障害者雇用促進法【23-(5)】・・・・・・・・・p24
障害者差別解消法【23-(2)】・・・・・・・・・p22
障害者支援【17-(2)】・・・・・・・・・・・・p17
障害者(児)の基本的権利【13-(2)】・・・・・p14
障害者総合支援法【13-(1)】・・・・・・・・p14
【23-(2)】・・・・・・・・p22
障害者の雇用の促進等に関する法律〈障害者雇用促進法〉【23-(5)】・・・・・・・・・・p24
障害者の就労支援【20-(1)】・・・・・・・・p20
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉
【13-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・・ p14
【23-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・・ p22
障害受容【17-(2)】・・・・・・・・・・・・p17
生涯発達の遺伝的基盤【12-(3)】・・・・・・p12
障害福祉計画【23-(2)】・・・・・・・・・・p22
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律〈障害者差別解消法〉【23-(2)】・・・ p22
状況【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
状況論【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・・ p 9
少子高齢化【17-(1)】・・・・・・・・・・・p17
症状性を含む器質性精神障害【22-(1)】・・・p21
情動【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【9-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
情動行動【10-(1)】・・・・・・・・・・・・p10
衝動制御困難【17-(2)】・・・・・・・・・・p17
小児期及び青年期に通常発症する行動並びに情緒の障害、特定不能の精神障害（F9）
【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・・ p21
少年院【23-(4)】・・・・・・・・・・・・・p23
少年鑑別所【23-(4)】・・・・・・・・・・・p23
少年司法制度【23-(4)】・・・・・・・・・・p23
少年非行【19-(1)】・・・・・・・・・・・・p19
初期学習【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p 8
職業意識とライフコース選択【12-(3)】・・・p12
職場におけるハラスメント防止対策【23-(5)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p24
職場のメンタルヘルス対策【20-(1)】・・・・p20
職場復帰支援【16-(3)】・・・・・・・・・・p16
【20-(1)】・・・・・・・・・・p20
触覚【7-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8
自立援助ホーム【23-(4)】・・・・・・・・・p23
自立更生促進センター【23-(4)】・・・・・・p23
自律神経【10-(1)】・・・・・・・・・・・・p10
人格【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
人格の形成過程【9-(3)】・・・・・・・・・・ p 9
神経画像検査【22-(1)】・・・・・・・・・・p21
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（F4）【22-(1)】・・・・・・・・p21
神経心理学的検査【14-(3)】・・・・・・・・p15
【22-(1)】・・・・・・・・p21
神経伝達物質【10-(1)】・・・・・・・・・・p10
神経発達症群／神経発達障害群【12-(4)】・・p13
新行動主義【4-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 7
心身症【16-(1)】・・・・・・・・・・・・・p16
心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律〈医療観察法〉【23-(4)】・・・・・・・・・・・・p23
人生会議【17-(2)】・・・・・・・・・・・・p17
身体【21-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p20
身体障害【17-(1)】・・・・・・・・・・・・p17
身体的虐待【17-(1)】・・・・・・・・・・・p17
診断前後の支援【17-(3)】・・・・・・・・・p18
診断的評価【14-(1)】・・・・・・・・・・・p14
心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉【17-(2)】・・p17
【24-(3)】・・p24
心電図【10-(2)】・・・・・・・・・・・・・p10
親密な対人関係【11-(1)】・・・・・・・・・p11
信用失墜行為の禁止【1-(2)】・・・・・・・ p 6
心理【21-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p20
心理学における研究倫理【5-(1)】・・・・・ p 7
心理教育【17-(2)】・・・・・・・・・・・・p17
【24-(3)】・・・・・・・・・・・p24
心理検査【1-(5)】・・・・・・・・・・・・ p 6
心理職のコンピテンシー【2-(1)】・・・・・ p 6
心理職の成長モデル【2-(2)】・・・・・・・ p 6
心理的応急処置〈サイコロジカル・ファーストエイド〉【16-(4)】・・・・・・・・・・・p17
心理的虐待【17-(1)】・・・・・・・・・・・p17
心理的発達の障害（F8）【22-(1)】・・・・・ p21
心理的負担による精神障害の認定基準【23-(5)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p24
心理物理学【7-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 8
診療録【23-(1)】・・・・・・・・・・・・・p22
心理療法【1-(5)】・・・・・・・・・・・・ p 6
【15-(1)】・・・・・・・・・・・p15
【22-(1)】・・・・・・・・・・・p21
進路指導【18-(1)】・・・・・・・・・・・・p18

す

遂行機能障害【10-(3)】・・・・・・・・・・p10
錐体外路症状【22-(2)】・・・・・・・・・・p21
睡眠【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p10
睡眠薬【22-(2)】・・・・・・・・・・・・・p22
推論【7-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8
スーパービジョン【2-(2)】・・・・・・・・ p 6
スクールカウンセリング【18-(2)】・・・・・p19
ストレス症状【16-(1)】・・・・・・・・・・p16
ストレスチェック制度【20-(1)】・・・・・・p20
ストレス反応【16-(1)】・・・・・・・・・・p16
ストレングス【15-(3)】・・・・・・・・・・p15

せ

性格【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
生活訓練【10-(3)】・・・・・・・・・・・・p10
生活困窮者自立支援法【23-(2)】・・・・・・p23
生活習慣と心の健康【16-(1)】・・・・・・・p16
生活習慣病【16-(1)】・・・・・・・・・・・p16
生活の中の治療【17-(3)】・・・・・・・・・p18
生活保護法【23-(2)】・・・・・・・・・・・p23
性行動【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・p10
性自認【12-(2)】・・・・・・・・・・・・・p12

精神科コンサルテーション【16-(2)】・・・・p16
精神科等医療機関へ紹介すべき症状
【22-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p22
成人期【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・p12
精神機能の変化【21-(1)】・・・・・・・・・p20
精神作用物質使用による精神及び行動の障害
(F1)【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p21
精神刺激薬【22-(2)】・・・・・・・・・・・p22
精神疾患【16-(2)】・・・・・・・・・・・・p16
精神疾患の診断分類・診断基準<ICD-10、DSM-5>
【13-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・・p14
【14-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・・p14
【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・・p21
精神腫瘍学【21-(2)】・・・・・・・・・・・p20
精神障害【17-(1)】・・・・・・・・・・・・p17
精神状態短時間検査-改訂日本版<MMSE-J>
【17-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・・p18
精神遅滞［知的障害］(F7)【22-(1)】・・・・p21
成人のパーソナリティ及び行動の障害 (F6)
【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・・p21
精神分析学【4-(1)】・・・・・・・・・・・ p 7
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
<精神保健福祉法>【13-(1)】・・・・・・・ p14
【23-(1)】・・・・・・・ p22
精神保健福祉法【13-(1)】・・・・・・・・・p14
【23-(1)】・・・・・・・・・p22
精神力動アプローチ【4-(1)】・・・・・・・ p 7
精神力動理論【15-(1)】・・・・・・・・・・p15
生成継承性<generativity>【12-(3)】・・・・p12
生成文法【8-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 9
生態学的システム論【11-(3)】・・・・・・・p11
成長障害<FTT>【12-(4)】・・・・・・・・・ p13
性的虐待【17-(1)】・・・・・・・・・・・・p17
性的指向【12-(2)】・・・・・・・・・・・・p12
生得的解発機構【8-(1)】・・・・・・・・・ p 8
生徒指導【18-(1)】・・・・・・・・・・・・p18
青年期【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・p12
成年後見制度の利用の促進に関する法律
【23-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・・p23
生物心理社会モデル
［biopsychosocial model<BPS>］【4-(1)】・・p 7
【14-(1)】・ p14
【15-(3)】・ p15
生理学【21-(1)】・・・・・・・・・・・・・p20
生理的障害及び身体的要因に関連した行動
症候群 (F5)【22-(1)】・・・・・・・・・・p21
摂食行動【10-(1)】・・・・・・・・・・・・p10
説明義務【23-(1)】・・・・・・・・・・・・p22
セロトニン【10-(1)】・・・・・・・・・・・p10
選好注視法【12-(1)】・・・・・・・・・・・p12
潜在学習【8-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 8
潜在記憶【7-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 8
専門家間の情報共有【1-(4)】・・・・・・・ p 6
専門職・行政・団体等の役割と連携
【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・・p17

そ

相関係数【5-(3)】・・・・・・・・・・・・ p 7
相互規定的作用モデル
<transactional model>【12-(2)】・・・・・p12
相互作用論【9-(3)】・・・・・・・・・・・ p 9
早産【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・・p13
喪失【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p17
喪失と悲嘆【12-(5)】・・・・・・・・・・・p13
装置【6-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7
ソーシャル・コンボイ【12-(5)】・・・・・・p13
ソーシャル・サポート【11-(1)】・・・・・・p11
【12-(5)】・・・・・・p13
ソーシャル・スキル【11-(1)】・・・・・・・p11
ソーシャル・スキルズ・トレーニング<SST>
【13-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・・p14
ソーシャル・ネットワーク【11-(1)】・・・・p11
測定【9-(4)】・・・・・・・・・・・・・・ p10
素行症／素行障害【19-(2)】・・・・・・・・p19
組織【11-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p11
組織風土と文化【20-(2)】・・・・・・・・・p20
素朴理論【12-(1)】・・・・・・・・・・・・p12

た

体温【10-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p10
胎児期【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・p12
対人関係の発達【12-(2)】・・・・・・・・・p12
対人行動【11-(2)】・・・・・・・・・・・・p11
対人ストレス【11-(1)】・・・・・・・・・・p11
対人的相互作用【11-(2)】・・・・・・・・・p11
対人認知【11-(2)】・・・・・・・・・・・・p11
体性感覚【7-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 8
態度【11-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p11
大脳皮質【10-(1)】・・・・・・・・・・・・p10
ダイバーシティ【20-(1)】・・・・・・・・・p20
代表値【5-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
タイプA型行動パターン【16-(1)】・・・・・p16
多感覚統合【7-(1)】・・・・・・・・・・・ p 8
多重関係【1-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 6
多重知能【12-(1)】・・・・・・・・・・・・p12
多職種による訪問支援【15-(2)】・・・・・・p15
【17-(3)】・・・・・・p18
多職種連携【1-(5)】・・・・・・・・・・・ p 6
多変量解析【5-(2)】・・・・・・・・・・・ p 7
短期記憶【7-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 8
男女雇用機会均等法【23-(5)】・・・・・・・p24
談話【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 9

ち

地域移行【22-(1)】・・・・・・・・・・・・p21
地域生活定着支援センター【23-(4)】・・・・p23
地域包括ケアシステム【15-(2)】・・・・・・p15
地域包括支援センター【23-(2)】・・・・・・p23
地域保健法【23-(1)】・・・・・・・・・・・p22
チーム医療【1-(5)】・・・・・・・・・・・ p 6
チーム医療と多職種連携の実践【16-(2)】・・p16
チーム学校【18-(2)】・・・・・・・・・・・p19
知覚【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【10-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p10
知覚・認知機能の障害【7-(1)】・・・・・・ p 8

知覚の可塑性【7-(1)】・・・・・・・・・・ p 8
知的障害【17-(1)】・・・・・・・・・・・・p17
知的能力障害【12-(4)】・・・・・・・・・・p13
知能検査【14-(3)】・・・・・・・・・・・・p15
【22-(1)】・・・・・・・・・・・・p21
知能指数【12-(1)】・・・・・・・・・・・・p12
知能の構造【12-(1)】・・・・・・・・・・・p12
注意【7-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 8
注意義務【23-(1)】・・・・・・・・・・・・p22
注意欠如多動症／注意欠如多動性障害<AD/HD>
【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・・p13
注意障害【10-(3)】・・・・・・・・・・・・p10
中枢神経【10-(1)】・・・・・・・・・・・・p10
中年期【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・p12
中年期危機【12-(3)】・・・・・・・・・・ p12
長期記憶【7-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 8
調査法【5-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
【6-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 8
治療と仕事【20-(1)】・・・・・・・・・・・p20

つ

通級【23-(3)】・・・・・・・・・・・・・・p23

て

低出生体重児【12-(4)】・・・・・・・・・ p13
ディスレクシア【8-(2)】・・・・・・・・・ p 9
データ解析【6-(2)】・・・・・・・・・・・ p 8
適性処遇交互作用【18-(1)】・・・・・・・・p18
テストバッテリー【14-(1)】・・・・・・・・p14
テスト理論【5-(2)】・・・・・・・・・・・ p 7
手続【6-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7
転移【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 8
【15-(3)】・・・・・・・・・・・・・・p15
点推定【5-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 7

と

投影法【14-(3)】・・・・・・・・・・・・ p15
動機づけ【4-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 7
【18-(1)】・・・・・・・・・・・・p18
動機づけ面接【15-(5)】・・・・・・・・・・p16
【19-(2)】・・・・・・・・・・p19
動機づけ理論【20-(2)】・・・・・・・・・・p20
統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害
(F2)【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p21
統合的心理療法【17-(2)】・・・・・・・・・p17
統語論【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 9
洞察学習【8-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 8
道徳性【12-(1)】・・・・・・・・・・・・・p12
逃避学習【8-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 8
読字障害【8-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 9
特性論【9-(4)】・・・・・・・・・・・・・ p10
特別支援教育【13-(2)】・・・・・・・・・・p14
【18-(2)】・・・・・・・・・・p19
【23-(3)】・・・・・・・・・・p23
度数分布【5-(3)】・・・・・・・・・・・・ p 7
独居・孤独【12-(5)】・・・・・・・・・・・p13
ドパミン【10-(1)】・・・・・・・・・・・・p10

な

内的作業モデル【12-(2)】・・・・・・・・・p12
内分泌代謝疾患【21-(2)】・・・・・・・・・p20
仲間関係【12-(2)】・・・・・・・・・・・・p12
ナラティブ【8-(2)】・・・・・・・・・・・ p 9
ナラティブ・アプローチ【4-(1)】・・・・・ p 7
【9-(4)】・・・・・ p10
【15-(3)】・・・・・p15
難病【16-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p16
【21-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p20

に

二次障害【17-(2)】・・・・・・・・・・・・p17
日常生活動作<ADL>【12-(5)】・・・・・・・ p13
乳児期【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・p12
乳児に対する実験法【12-(1)】・・・・・・・p12
ニューロン【10-(1)】・・・・・・・・・・ p10
人間-状況論争【9-(3)】・・・・・・・・・・p 9
人間性アプローチ【4-(1)】・・・・・・・・ p 7
【15-(1)】・・・・・・・・p15
人間性心理学的アプローチ【9-(4)】・・・・ p10
認知【9-(3)】・・・・・・・・・・・・・・ p 9
認知機能検査【22-(1)】・・・・・・・・・・p21
認知機能の活性化【17-(3)】・・・・・・・・p18
認知言語学【8-(2)】・・・・・・・・・・・ p 9
認知行動アプローチ【4-(1)】・・・・・・・ p 7
認知行動療法【13-(2)】・・・・・・・・・・p14
認知行動理論【15-(1)】・・・・・・・・・・p15
認知症【12-(5)】・・・・・・・・・・・・・p13
【17-(1)】・・・・・・・・・・・・・p17
認知症高齢者【16-(3)】・・・・・・・・・・p16
認知症の行動・心理症状［behavioral and
psychological symptoms of dementia<BPSD>］
【17-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p18
認知症の人に対する心理支援【17-(3)】・・・p18
認知症の予防と共生【17-(3)】・・・・・・・p18
認知神経科学【4-(1)】・・・・・・・・・・ p 7
認知心理学【4-(1)】・・・・・・・・・・・ p 7
認知的制約【8-(2)】・・・・・・・・・・・ p 9
認知的評価理論【9-(1)】・・・・・・・・・ p 9
認知の予備力<cognitive reserve>
【17-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・・p17
認知リハビリテーション【17-(3)】・・・・・p18

ね

ネグレクト【17-(1)】・・・・・・・・・・ p17

の

脳機能計測技術【7-(1)】・・・・・・・・・ p 8
脳血管疾患【21-(2)】・・・・・・・・・・・p20
脳脊髄液【10-(1)】・・・・・・・・・・・・p10
脳卒中後遺症【21-(2)】・・・・・・・・・・p20

脳波【10-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p10
脳波検査【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・p21
ノーマライゼーション【17-(2)】・・・・・・・p17
ノルアドレナリン【10-(1)】・・・・・・・・・p10
ノンパラメトリック検定【5-(3)】・・・・・ p 7

は

ハーグ条約【23-(4)】・・・・・・・・・・・・p23
パーソナリティ【9-(3)】・・・・・・・・・・ p 9
パーソナリティ障害【9-(4)】・・・・・・・・ p10
バーンアウト【16-(1)】・・・・・・・・・・・p16
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護
に関する法律<DV 防止法>【23-(2)】・・・・p23
配偶者暴力相談センター【23-(2)】・・・・・p23
働き方改革【20-(1)】・・・・・・・・・・・・p20
発達【4-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
発達検査【14-(3)】・・・・・・・・・・・・・p15
【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・p21
発達障害【13-(1)】・・・・・・・・・・・・・p14
発達障害者支援法【13-(1)】・・・・・・・・p14
【23-(2)】・・・・・・・・p22
発達性協調運動症／発達性協調運動障害
【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p13
発達相談【16-(3)】・・・・・・・・・・・・・p16
ハラスメント【20-(1)】・・・・・・・・・・・p20
般化【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8
半構造化面接【14-(1)】・・・・・・・・・・・p14
反抗挑発症／反抗挑戦性障害【19-(2)】・・・p19
犯罪【19-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p19
犯罪捜査場面における心理学【19-(1)】・・・p19
犯罪被害者支援【19-(1)】・・・・・・・・・p19
犯罪被害者等基本法【23-(4)】・・・・・・・p23
犯罪予防【19-(1)】・・・・・・・・・・・・・p19
反社会性【12-(2)】・・・・・・・・・・・・・p12
反社会性パーソナリティ障害【19-(2)】・・・p19

ひ

被介護【12-(5)】・・・・・・・・・・・・・・p13
被害者の視点を取り入れた教育【19-(2)】・・p19
ひきこもり【16-(3)】・・・・・・・・・・・・p16
非器質性【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・p13
被虐待児への心理療法【17-(3)】・・・・・・p18
非行【18-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p18
非行・犯罪のアセスメント【19-(2)】・・・・p19
非行・犯罪の理論【19-(2)】・・・・・・・・p19
非社会性【12-(2)】・・・・・・・・・・・・・p12
非定型発達に対する介入及び支援【12-(4)】・p13
皮膚電位図【10-(2)】・・・・・・・・・・ p10
秘密保持義務【1-(2)】・・・・・・・・・・ p 6
【1-(4)】・・・・・・・・・・ p 6
描画法【14-(3)】・・・・・・・・・・・・・・p15
評定尺度【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・p21
標本分布【5-(3)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
貧困【17-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p17

ふ

不安【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p21
夫婦関係【11-(3)】・・・・・・・・・・・・・p11
夫婦間暴力<DV、IPV>【11-(3)】・・・・・・ p11
【17-(1)】・・・・・・ p17
賦活症候群【22-(2)】・・・・・・・・・・・ p22
副交感神経【10-(1)】・・・・・・・・・・・ p10
副作用【22-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p21
福祉事務所【23-(2)】・・・・・・・・・・・・p23
福祉の基本理念【17-(1)】・・・・・・・・・ p17
物体とシーンの知覚【7-(1)】・・・・・・・・p 8
不適切な養育【11-(3)】・・・・・・・・・・・p11
不登校【18-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p18
負の相補性<negative-complementarity>
【15-(5)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p16
普遍文法【8-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 9
プライバシー保護【1-(4)】・・・・・・・・・ p 6
プライミング【7-(2)】・・・・・・・・・・・ p 8
文化的自己観【11-(3)】・・・・・・・・・・・p11
文献研究【6-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
分散分析【5-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 7

へ

ペアレント・トレーニング【13-(2)】・・・・p14
平均寿命【12-(5)】・・・・・・・・・・・・・p13
辺縁系【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p10
弁別【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8

ほ

包括的アセスメント【17-(3)】・・・・・・・・p18
保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・
労働との連携【3】・・・・・・・・・・・・・p 6
保険診療制度【23-(1)】・・・・・・・・・・・p22
保護観察所【23-(4)】・・・・・・・・・・・・p23
母子保健法【23-(1)】・・・・・・・・・・・・p22
補償を伴う選択的最適化【12-(5)】・・・・・p13

ま

末梢神経【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・p10

み

味覚【7-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 8
民法【23-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p22

め

メタ分析【5-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
【15-(5)】・・・・・・・・・・・・p16
めまい【21-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p20
面会交流【19-(1)】・・・・・・・・・・・・・p19
面接法【5-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 7
【6-(2)】・・・・・・・・・・・・・・ p 8
メンタライゼーション【12-(1)】・・・・・・p12

も

妄想【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p21
燃え尽き症候群〈バーンアウト〉【16-(1)】・・p16
目的【6-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
モデリング【8-(1)】・・・・・・・・・・・・ p 8
問題解決【7-(2)】・・・・・・・・・・・・・ p 8

や

薬剤性精神障害【22-(2)】・・・・・・・・・・p22
薬物【16-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・p16
【21-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p20
薬物依存症【24-(3)】・・・・・・・・・・・・p24
薬物動態【22-(2)】・・・・・・・・・・・・・p21
薬物療法【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・p21
薬理作用【22-(2)】・・・・・・・・・・・・・p21

ゆ

有害事象【22-(2)】・・・・・・・・・・・・・p21
友人関係【12-(2)】・・・・・・・・・・・・・p12

よ

養育困難【17-(1)】・・・・・・・・・・・・・p17
養育信念【11-(3)】・・・・・・・・・・・・・p11
養護者・養介護施設従事者等への支援
【17-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p18
養子縁組【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・p17
幼児期【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・・p12
要素主義【4-(1)】・・・・・・・・・・・・・ p 7
要保護児童【17-(1)】・・・・・・・・・・・・p17
抑うつ【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p21
予防の考え方【16-(1)】・・・・・・・・・・・p16

ら

ライフサイクルと心の健康【16-(1)】・・・・p16
ライフサイクル論【12-(3)】・・・・・・・・p12

り

リーダーシップ【20-(2)】・・・・・・・・・p20
リエゾン精神医学〈精神科コンサルテーション〉
【16-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p16
リサーチ・クエスチョン【6-(1)】・・・・・ p 7
リスクアセスメント【1-(3)】 ・・・・・・ p 6
【17-(3)】・・・・・・・p18
リハビリテーション【10-(3)】・・・・・・・p10
【13-(2)】・・・・・・・p14
療育【13-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p14
両立支援【20-(1)】・・・・・・・・・・・・・p20
臨界期【8-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p 8
倫理的ジレンマ【1-(2)】・・・・・・・・・・ p 6

る

類型論【9-(4)】・・・・・・・・・・・・・・ p10

れ

恋愛【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・p12
連続性と変化【9-(3)】・・・・・・・・・・・ p 9

ろ

老人福祉法【23-(2)】・・・・・・・・・・・・p22
労働安全衛生法【23-(5)】・・・・・・・・・・p24
労働基準法【23-(5)】・・・・・・・・・・・・p24
労働契約法【23-(5)】・・・・・・・・・・・・p24
労働災害【20-(1)】・・・・・・・・・・・・・p20
労働施策総合推進法【23-(5)】・・・・・・・p24
労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用
の安定及び職業生活の充実等に関する法律
〈労働施策総合推進法〉【23-(5)】・・・・・ p24
労働者の心の健康の保持増進のための指針
【23-(5)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p24
労働者派遣法【23-(5)】・・・・・・・・・・p24
労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣
労働者の保護等に関する法律〈労働者派遣法〉
【23-(5)】・・・・・・・・・・・・・・・・・p24
老年期【12-(3)】・・・・・・・・・・・・・・p12
労務管理でのコンサルテーション【20-(1)】・p20

わ

ワーキングメモリ【7-(2)】・・・・・・・・・ p 8
ワーク・エンゲイジメント【20-(1)】・・・・p20
ワーク・ライフ・バランス【20-(1)】・・・・p20

A

ACP【3】・・・・・・・・・・・・・・・・・・p 6
【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p17
AD/HD【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・・ p13
ADL【12-(5)】・・・・・・・・・・・・・・・ p13
ageism【17-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p17
aging paradox【12-(5)】・・・・・・・・・ p13
【17-(1)】・・・・・・・・・ p17
AIDS【16-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p16
【21-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p20
ASD【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・ p13

B

behavioral and psychological symptoms of
dementia〈BPSD〉【17-(3)】・・・・・・・・ p18
biopsychosocial model〈BPS〉【4-(1)】・・・ p 7
【14-(1)】・・・p14
【15-(3)】・・・p15

BPSD【17-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・p18
Broca 失語【8-(2)】・・・・・・・・・・・・ p 9

C

Caplan モデル【16-(1)】・・・・・・・・・・ p16
CDR【17-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p18
clinical dementia rating<CDR>【17-(3)】p18
cognitive reserve【17-(1)】・・・・・・・・ p17

D

DPAT【16-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・p17
DSM-5【13-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p14
【14-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p14
【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p21
DV【11-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・・p11
【17-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・・p17
DV 防止法【23-(2)】・・・・・・・・・・・・p23

F

FTT【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・ p13

G

GABA【10-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・p10
generativity【12-(3)】・・・・・・・・・・・p12

H

HDS-R【17-(3)】・・・・・・・・・・・・・・ p18

I

ICD-10【13-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p14
【14-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p14
【22-(1)】・・・・・・・・・・・・・・p21
ICF【13-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p14
ICIDH【13-(1)】・・・・・・・・・・・・・・ p14
IPV【11-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・ p11
【17-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p17

J

J.Piaget の発達理論【12-(1)】・・・・・・・・p12

L

L.S.Vygotsky の発達理論【12-(1)】・・・・・p12

M

MCI【17-(1)】・・・・・・・・・・・・・・・ p17
mild cognitive impairment<MCI>【17-(1)】 p17
MMSE-J【17-(3)】・・・・・・・・・・・・・p18

N

N.Chomsky の言語理論【8-(2)】・・・・・・ p 9
negative-complementarity【15-(5)】・・・・p16

P

PTSD【17-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・p17
【24-(3)】・・・・・・・・・・・・・・・p24

Q

QOL<quality of life>【12-(5)】・・・・・・p13
【16-(2)】・・・・・・p16
quality of life【12-(5)】・・・・・・・・ p13
【16-(2)】・・・・・・・・ p16

S

scientist-practitioner model【4-(1)】・・ p 7
SLD【12-(4)】・・・・・・・・・・・・・・・ p13
SST【13-(2)】・・・・・・・・・・・・・・・ p14

T

TEACCH【13-(2)】・・・・・・・・・・・・・・p14
transactional model【12-(2)】・・・・・・ p12

W

Wernicke 失語【8-(2)】・・・・・・・・・・・p 9